

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶  
び申し上げます。

さて、このたびは斜友会芳治先生におかれ  
ましては、めでたく一五〇回記念講座を  
迎えられるとの由、心よりお祝い申し上げます。

何より、毎月休むことなく一五〇ヶ月続けた  
というのは、大変なご苦労、困難を乗り越

えられ今日を迎えられること、誠に素晴らしい

らしい限りでございませう。

かえりみますと、私と斜友秀治先生との出  
会いは、4年程前になります。斜友秀治  
先生にお会いするまで、私の中での氣功  
に付する認識は、秀蓮氣功とは全く異  
なるものでした。

特に痛に苦しんでいらっしゃる方々にとり、氣功を  
習得したいときである時、秀蓮氣功ニ付、

その思いを可能にしてくれる唯一の道石なので  
はないでしょうか。

修行の必要もなく、年齢、性別を問わず、  
誰もが短時間で氣功師になれるということ  
を固く、私の氣功に対する概念が一変いた  
—ました。

私の長男も、私の叔母も、ともに秀蓮氣功師  
になることができてきましたことを、非常にうれしく



記憶があります。

よん友母の優一を思い出し、同じ癒一  
を科友秀治先生の秀蓮氣功に見出  
すことができまふ。

膨大なる匠療量がふくらむ中、予防医学、  
自己ケア、視覚からみても、秀蓮氣功の  
癒一の力が、時代の新潮流になる、では  
ないかと推察してあります。

開講以來、常に不動の地位を保たれ、氣  
功界の大手本としてのご活躍ぶりには、誠に敬服  
するばかりでございませう。

たくさんの種類の氣功の潮流変化の中、  
居連氣功が、引き続き時代の先頭を走  
られるものと期待しております。

今後は更に、一般のご発展を重ねつつ、  
着実に前進にならることをお祈り申し上げます。

ますの書中を以て、下を視い申し上りませう。

敬具

二〇一一年一月七日

衆議院議員

鳩山 邦夫 通